

【種類別明細書の記入例：新規・増加】

令和 年度

所有者コード		※	種類別明細書(増加資産・全資産用)										所有者名		枚のうち	
○○○○○○○													○○○○ 株式会社		枚のうち 枚目	
行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月			取得価額	耐用年数	減価残存率	価 格	課税標準の特例		課税標準額	増加事由	摘 要
					年号	年	月					率	コード			
01	1		駐車場アスファルト舗装	1	H	28	5	1,000,000	10	0.	記入の必要はありません。		1-2 3-4			
02	2		太陽光発電設備	1	R	1	10	3,500,000	17	0.	耐用年数は国税の申告と合せて下さい。		1-2 3-4			
03																
小 計																

資産の種類は次のとおりです。
 1: 構築物、 2: 機械及び装置、 3: 船舶
 4: 航空機、 5: 車両及び運搬具、 6: 工具、器具及び備

S: 昭和 H: 平成 R: 令和
 または
 3: 昭和 4: 平成 5: 令和

1. 新品取得、2. 中古品取得、3. 移動による受入れ、4. その他

* 備考欄には、即時償却や課税標準の特例の対象資産である場合にはその旨を記載すること。

【種類別明細書の記入例：減少】

◎ 申告済資産は、種類別明細書にその資産があらかじめ印刷されています。資産の減少、修正等ある場合は下記を参考にして記入してください。
 記入例①: 該当する資産が全数量減少した場合には、「資産の名称等」から「増加事由」まで、抹消線を引き、「摘要」欄に 事由として「減少」と記入してください。
 記入例②: 資産の一部が減少した場合は、「数量」と「取得価額」に抹消線を引いて訂正してください。「摘要」欄には「一部減少」と記入してください。
 その他の変更があった資産については、変更箇所にも抹消線を引き修正内容を記入の上、「摘要」欄に「修正」と記入してください。

令和 年度

所有者コード		※	種類別明細書										所有者名		枚のうち	
○○○○○○○													△△△株式会社		枚のうち 枚目	
行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月			取得価額	耐用年数	減価残存率	価 格	課税標準の特例		課税標準額	増加事由	摘 要
					年	月	率					コード				
01	1		擁壁	1	4	20	2	1,500,000	50	0.				1-2 3-4		
02	1		看板	1	4	20	12	200,000	10	0.	耐用年数は同一名称であっても、用途・構造により異なる場合があります。詳しくは国税庁サイト耐用年数表で確認ください。		1-2 3-4	減少		
03	2		ボイラー	1	4	27	3	900,000	10	0.				1-2 3-4		
04	6		エアコン	1	4	28	5	380,000	6	0.				1-2 3-4	一部減少	
				-2				760,000		0.						